

山田発

交流促進料理教室



災害公営住宅入居者と地域住民との交流を図ろうと、山田町豊間根地区で料理教室が開かれました。去年7月に完成した災害公営住宅の住民と地区の自治会の人

達15人が参加し、シチューなどを作りながら交流を深めました。(9/19 ニュース)

大槌発

竹下復興大臣視察

竹下亘復興大臣は復興事業が進む沿岸部を視察し、大槌町では防潮堤の整備や高台移転などの進み具合や課題を確認しました。竹下大臣は来年度



から5年間の復興創生期間にあたり、様々な問題に積極的に取り組む姿勢を示した上で、被災自治体にも「これからは遅れることは許されない」と復興事業の加速を求めています。(9/22 ニュースエコー)

田野畑発

「たのはた校」開設



津波で被災し再建された田野畑村・机浜の番屋集落を核に、村の活性化を研究する「地域づくり大学・たのはた校」が開校しました。

岩手県立大学が村と設置したもので、学生が体験ツアーの開発や新たな地域資源の発掘など調査・研究を行います。(9/25 ニュースエコー)

釜石発

仮設団地集約・新計画

釜石市は仮設住宅団地の集約について、新たな計画を発表しました。新計画では2017年度上期までに、現在入居している3070戸のうち11



95戸を拠点となる仮設団地に移し、市内に65か所ある仮設住宅団地を20か所に集約します。退去の時期は前の計画より1年から2年延長されます。

(9/25 ニュースエコー)

宮古発

防潮堤工事で要望書

宮古市の藤の川海岸の津波対策で、県は海岸沿いの国道45号の法面に長さ300メートル、高さ最高4メートルの



防潮堤を整備する計画です。これに対し、地域住民は海水浴場でもある海岸の景観を守るため、視界を遮る防潮堤計画を見直し、防潮扉を設置することを求める要望書を県に提出しました。(9/25 ニュースエコー)

大船渡発

仮設団地で同窓会

未だ仮設住宅で暮らす人たちを元気づけようと、かつてイベント支援で訪れた団体が一堂に集まり同窓会が行われました。今も210世帯が住む大船渡市最大の長洞仮設団地で行われた同窓会には20団体が集結。地元中学生の吹奏楽演奏を楽しんだほか、ベリーダンスでは仮設住宅の人たちも一緒に踊るなど、一体となってイベントを楽しんでいました。

(9/26 ニュース)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの大久保暢子さんが、陸前高田市商工観光課の大林孝典さんとともに、10月18日(日)に行われる「全国太鼓フェスティバル」について伝えてくれました。今回の太鼓フェスティバルには県内のほか、遠くは宮崎県宮崎市の団体も参加し、高田第一中学校の体育館で開催されます。今年は陸前高田市の市制施行60周年ということもあり、復興に弾みをつける力強い太鼓の鼓動を響かせたいと話していました。(9/30)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122